

# 解説 LEVEL UP 問題

## 第1章 数と式

1  $x > 1$  として、 $y = \frac{1}{2}\left(x + \frac{1}{x}\right)$  とおく。  $5y + \sqrt{y^2 - 1}$  を根号を用いない  $x$  の式で表せ。また、 $5y + \sqrt{y^2 - 1} = 7$  となる  $x$  の値を求めよ。 (03 摂南大)

<考え方>

根号の中が平方の形になれば、根号はずれる。  
 $x > 1$  であることに注意する。

$$\sqrt{A^2} = |A| = \begin{cases} A & (A \geq 0) \\ -A & (A < 0) \end{cases}$$

解  $y = \frac{1}{2}\left(x + \frac{1}{x}\right)$  より、両辺を2乗して1を引くと、  

$$y^2 - 1 = \left\{\frac{1}{2}\left(x + \frac{1}{x}\right)\right\}^2 - 1$$

$$= \frac{1}{4}\left\{\left(x + \frac{1}{x}\right)^2 - 4\right\} = \frac{1}{4}\left(x - \frac{1}{x}\right)^2$$
 ここで、 $x > 1$  より、 $x > \frac{1}{x}$  つまり、 $x - \frac{1}{x} > 0$   
 したがって、 $\sqrt{y^2 - 1} = \sqrt{\frac{1}{4}\left(x - \frac{1}{x}\right)^2}$   

$$= \frac{1}{2}\left|x - \frac{1}{x}\right| = \frac{1}{2}\left(x - \frac{1}{x}\right)$$
 よって、 $5y + \sqrt{y^2 - 1} = 5 \cdot \frac{1}{2}\left(x + \frac{1}{x}\right) + \frac{1}{2}\left(x - \frac{1}{x}\right) = 3x + \frac{2}{x}$  ……①  
 また、 $5y + \sqrt{y^2 - 1} = 7$  に①を代入して、  

$$3x + \frac{2}{x} = 7 \quad 3x^2 - 7x + 2 = 0$$
  

$$(x-2)(3x-1) = 0 \quad \text{より、} \quad x = 2, \frac{1}{3}$$
 よって、 $x > 1$  より、 $x = 2$

$\sqrt{\quad}$  の中を  $x$  の式で表し、平方の形を意識して変形する。  
 $\left(x + \frac{1}{x}\right)^2 - 4 = x^2 - 2 + \frac{1}{x^2}$   
 $x > 1$  より、 $\frac{1}{x} < 1$   
 $\sqrt{A^2} = |A| = \begin{cases} A & (A \geq 0) \\ -A & (A < 0) \end{cases}$   
 両辺に  $x$  を掛ける。  
 解の吟味  $x > 1$  を忘れない。

### + One Point Lesson

- $\sqrt{A^2} = |A|$  をしっかり使えるようにしよう。
- 次の式変形もよく用いられる。

$$x^2 + \frac{1}{x^2} = \left(x + \frac{1}{x}\right)^2 - 2$$

$$x^3 + \frac{1}{x^3} = \left(x + \frac{1}{x}\right)^3 - 3\left(x + \frac{1}{x}\right)$$

$$x^4 + \frac{1}{x^4} = \left(x^2 + \frac{1}{x^2}\right)^2 - 2$$

$$x^5 + \frac{1}{x^5} = \left(x^2 + \frac{1}{x^2}\right)\left(x^3 + \frac{1}{x^3}\right) - \left(x + \frac{1}{x}\right)$$

利用

2  $x = \frac{\sqrt{3}-1}{\sqrt{3}+1}$ ,  $y = \frac{5x+4}{x+1}$  のとき,

(1)  $y$  の整数部分と小数部分を求めよ.

(2)  $y$  に最も近い整数値を求めよ.

(麻布大) → p. 718 49

<(1)の考え方>

$x$  の分母を有理化してから,  $y$  に代入する.

(1)の解  $x = \frac{\sqrt{3}-1}{\sqrt{3}+1} = \frac{(\sqrt{3}-1)^2}{(\sqrt{3}+1)(\sqrt{3}-1)} = \frac{4-2\sqrt{3}}{2} = 2-\sqrt{3}$

より,

$$y = \frac{5x+4}{x+1} = \frac{5(x+1)-1}{x+1} = 5 - \frac{1}{x+1}$$

$$= 5 - \frac{1}{(2-\sqrt{3})+1} = 5 - \frac{1}{3-\sqrt{3}}$$

$$= 5 - \frac{3+\sqrt{3}}{(3-\sqrt{3})(3+\sqrt{3})} = 5 - \frac{3+\sqrt{3}}{6} = \frac{27-\sqrt{3}}{6}$$

$1 < \sqrt{3} < 2$  より,  $25 < 27 - \sqrt{3} < 26$

したがって,  $\frac{25}{6} < \frac{27-\sqrt{3}}{6} < \frac{26}{6}$

よって,  $4 < \frac{25}{6} < \frac{26}{6} < 5$  より,

$y$  の整数部分は, 4

$y$  の小数部分は,  $\frac{27-\sqrt{3}}{6} - 4 = \frac{3-\sqrt{3}}{6}$

分母を有理化して, 簡単にしてから  $y$  に代入する.

$y = \frac{5x+4}{x+1}$  に  $x = 2 - \sqrt{3}$  をそのまま代入してもよい.

$1 < \sqrt{3} < 2$  より,  
 $-2 < -\sqrt{3} < -1$   
 各辺に 27 をたすと,  
 $27 - 2 < 27 - \sqrt{3} < 27 - 1$

(小数部分)  
 = (もとの数) - (整数部分)

<(2)の考え方>

$y$  の小数部分と 0.5 の大きさを調べる.

(2)の解  $y$  の小数部分と 0.5 の大きさを調べる.

$$0.5 - \frac{3-\sqrt{3}}{6} = \frac{1}{2} - \frac{3-\sqrt{3}}{6} = \frac{\sqrt{3}}{6} > 0 \text{ より, } 0 < \frac{3-\sqrt{3}}{6} < 0.5$$

したがって,  $4 < y < 4.5$

よって,  $y$  に最も近い整数値は, 4

$\frac{25}{6} < \frac{27-\sqrt{3}}{6} < \frac{26}{6}$  より,  
 $4.1\bar{6} < \frac{27-\sqrt{3}}{6} < 4.3$

✦ One Point Lesson

p. 57 の例題 27 でも用いたが, 実数の小数部分は, (小数部分) = (もとの実数) - (整数部分) というように小数部分を直接算出せずに表すことができる.

例えば,  $\pi = 3.14\dots$  であるが, その小数部分は, ( $\pi$  の小数部分) =  $\pi - 3$  である.

また, 小数部分  $s$  はつねに  $0 \leq s < 1$  を満たすこともおさえておこう.

数や式は利用するだけでなく, その背景にある論理性を同時につかんでおくことが大切である.